

日本の

SC Shopping Center

●なんばパークス● 大阪市浪速区 大阪から世界へ。緑豊かな国際都市、なんばパークス。

プロ野球の南海ホークスで、あの野村が、広瀬が、杉浦が、そして門田が名勝負を繰り広げた大阪球場が今、世界へ通ずる“大阪の玄関口”として大きく生まれ変わった。
なんば初の本格的なオフィスビル、SC、文化、そして自然のやすらぎが一体化した画期的な複合緑化都市『なんばパークス』は、2003年10月7日(火)のオープン以来1週間で約139万人もの人を集め、大阪・なんばの活性化に寄与している。



緑の少ない大阪に、約1万m²(「期開業時」の屋上公園(内半分が緑地)が誕生。右のビルはオフィス棟の「パークスタワー」、左下は、なんばCITY南館との間に設けられた「なんばカーニバル」



ジョン・ジャーティらしさが出ているキャニオンストリート



スタンダードアイテムを蘇らせたオリジナルウェアを展開する「シッブスブルーラボ」



ますます書籍の割合が少なくなってきたヴィレッジヴァンガードの新業態「ニュースタイル」



カラフルな天然石がいっぱい。好みの石でオリジナルなアクセサリを作る「ストーンマーケット」



1時間待ちもざらな「大阪ヌードルシテイ〜浪花麺だらけ〜」



どども順番を待つ人でいっぱいなの6階レストラン街



アルマーニのカジュアルラインを展開する「アルマーニジーンズ」

「なんばパークス」全景。右の高いビルはオフィスビルの「パークタワー」
 (写真提供・南海電気鉄道株)



わずか15分で憧れの女優やモデル顔に変身。プロのメイクアップアーティストが仕上げてくれるメイクスボット「15ミニッツビューティ」



TOBが厳選して集めてきたインテリアグッズ、ファニチャー、ステーションナリ、ガーデングッズにカフェが併設した「フォブローフ&カフェ」



美しいカットイング、ディテールへのこだわりを追求したシャツやブラウスに定評のある、ミラノ発の「ナラ カミーチェ」(右)と自立した女性の贅沢なおしゃれ心を満たす「ルーニィ」(左)

曲線を多用した通路。右にインナー・デイリーウェアの「スーラブラージュ」、左には通販でお馴染みのインテリア・ファッション雑貨の「ベルメゾンスタイル」。奥に見えるのは「靴下屋」



●SC概要

施設名	なんばパークス
所在地	大阪市浪速区難波中2-10-70
延床面積	147,000m ² (内商業施設は約40,000m ²)
店舗数	105店舗(物販81、飲食19、サービス5)
オープン日	2003年10月7日(火)